

エンタープライズ事業グループ  
自動車本部

山口 剛気

アプリケーションエンジニア  
文系学部卒  
2021年入社

地域拠点だからこそ  
大きなプロジェクトとやりがい

### ■自分が成長できる舞台を求めて

私は自動車本部のエンジニアとして勤務しています。新卒で入社して5年目の今年から、AIデジタルイノベーション部に所属していますが、携わっている案件はAI関連ではなく、ローコードのプラットフォームツールを用いたアプリケーション開発です。

CTCを志望したきっかけは就職活動時の冬のインターンシップへの参加です。“就活”の軸としていた「自身の成長を確かな成果として実感できる」企業をと考えていたのですが、CTCのインターン経験で、この会社でなら自分の考える働き方を実現できそうだと感じました。

### ■名古屋オフィスに配属されて5年

入社後の研修を終えて、配属されたのが名古屋オフィスにある自動車業界をお客様とする部署でした。情報専攻でもない文系出身の私ですが、世界的規模でビジネス展開されている企業を担当する機会に恵まれたのは、面談の際に「大きなプロジェクトに参加して、働きがいを実感したい」という思いを伝えていたからだと思います。私たちのお客様には、課題を徹底的に追求し本質を見極める文化があります。さらにAIを活用した新たなモビリティ社会への挑戦など、最先端を走るお客様と共にビジネスをするためには、私たちも同等以上の水準でなければならないと、常に気を引き締めています。配属発表があった当初は初めての1人暮らし

に不安もありましたが、営業、エンジニア含め約10名の同期と一緒にし、住まいも会社の近くだったので、名古屋での新生活は何不自由なくスタートできました。仕事に関しては、最初に担当した案件では初めてのことばかりで右往左往していたことを覚えています。先日、当時一緒にお仕事した方から「この5年で見違えるように成長した」というお言葉をいただき、少しは成長できたのかもしれないと嬉しく思いました。先輩方から地域拠点の方が個人個人の裁量に任せられる範囲は大きくなると聞いているので、その環境も味方にし、より成長していきたいです。

### ■人間関係が作り出す、働きやすい職場環境

仕事を始めるまではエンジニアは、パソコンに向かってばかりの仕事だと思っていました。しかし実際は、人との関わりが大切な仕事だと感じています。仕事を進める中でわからないことや相談したいことは必ず出てきます。ですから営業、エンジニア、さらにお客様まで、「チームワーク」にも似た話しやすい関係作りがとても重要なのです。他の勤務地を経験していないので比較はできませんが、当地はアットホームな人間関係が築きやすいので、その点でも働きやすいと感じます。今後も、人との関わりを大切にしながら、その輪を広げていくことで、より規模の大きなプロジェクトに携わり成果を上げたいと思っています。

広域・社会インフラ事業グループ  
中日本技術本部

森本 雅夕

インフラエンジニア  
理系学部卒  
2023年入社

私の働くオフィスには  
若手が育つ土壌があります

### 物理化学の研究室から ITの世界へ

大学時代は、ITとは関係のない物理化学の研究室にいました。就職活動をする時は、どの業界でどんな仕事に就くべきか決められず、むしろ、どんな業界にどんな仕事があるのか情報を集めようという気持ちで、“就活”をスタートさせました。色々な企業の説明会などに参加して気付いたのは、どの業界であってもこれからはITの技術や知識が必要だということです。中でもお客様の業種が幅広く、様々な技術や製品に触れるチャンスが多いと感じたCTCを志望しました。

### 着実にステップアップを重ね、 計画を実現

研修後、名古屋の中日本技術本部に配属され、主に自治体や教育関連機関のお客様を担当しています。配属先ではOJT制度の中で、3年間の計画を立てるといったものがありました。立てた計画を毎年振り返りながら成長していくプログラムなのですが、私は、2年目には、PM(プロジェクトマネージャ)の下でリーダーとして活動し、3年目でPMとして自立するという計画を立てました。当時は、本当に実現できるのか不安でしたが、今年はその3年目で、新人の頃に立てた計画を全て実現できました。CTCは様々な働き方が可能で、リモートワークもできますが、私は仕事の進めやすさや相談のしやすさから、

ほぼ100%出勤して働いています。研修も充実していて、「これをやりたいです」と手を挙げる人を応援する企業文化のおかげで、着実に成長し、計画も達成できたと感じています。

### 任せられることで、 得られる達成感

今年も、自治体のお客様の小規模な案件ではありませんでしたが、具体的には、RFP(提案依頼書)の対応に始まり、お客様の要件を伺い、設計し、テストして、運用の説明をするところまでの一連を、担当しました。まだまだ、周りの方々に助けていただきながらですが、プロジェクトを任されてPMとしてエンドユーザーであるお客様に寄り添いながら運用説明や不明点に対して回答するところまでできたことで、達成感を得られました。若手がここまで担当させてもらえるのもCTCの企業文化だと思いますが、さらに現在の部署は、先輩にフォローいただきつつ任せてもらえる範囲がとても広いので、やりがいを感じています。仕事には技術が必要ですが、調整や交渉することも多く、コミュニケーション力も必要です。今年も3年目のキャリア研修があり、さらにPMとして経験を積んで、バイネーム(指名)でお仕事を発注していただけるようになることを目標にしました。新しい目標が達成できるまで、どのくらいかかるかわかりませんが積極的に自分を磨きつつ、これからも周りの方々と協力しながら次のステージを目指していきたいです。